

## 第1回 三谷地区

### まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日時：平成30年7月1日（日）  
午後2時～午後4時30分  
会場：三谷公民館 大集会室  
主催：蒲郡市

#### プログラム

開会	2：00
あいさつ	
事務局から説明	2：05
・ワークショップの趣旨・目的 ・進め方とスケジュール ・蒲郡市の現状と公共施設マネジメントの取り組み ・本日の検討内容	
(休憩)	2：50
グループ討議	3：00
発表	4：05
事務連絡	4：25
閉会	4：30

#### <目次>

- ・ ワークショップの趣旨・目的 . . . . . 1
- ・ 進め方とスケジュール . . . . . 2
- ・ 蒲郡市の現状と公共施設マネジメントの取り組み . . . . . 7
- ・ 本日の検討内容 . . . . . 22
- ・ 三谷地区の公共施設の概要 . . . . . 23
- ・ 三谷地区まちづくりと公共施設の  
将来を考えるワークショップ資料集 . . . . . 別冊

## 次回ワークショップのご案内

「第2回三谷地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を以下のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますようお願いいたします。

### 1 日時

平成30年8月5日（日）

午後1時30分～午後4時30分（開場：午後1時15分）

### 2 会場

三谷公民館 3階 大集会室

### 3 お願い

- 本日の資料の内「三谷地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ資料集」は、今後のワークショップにご持参下さい。
- 次回ワークショップの資料を郵送で事前に配布いたしますので当日ご持参下さい。
- 欠席される場合は、事務局までご連絡願います。

### 【ワークショップ事務局】

蒲郡市総務部財務課 担 当：小野・大森・星野

電 話：0533-66-1158

ファクス：0533-66-1183

E-mail：zaimu@city.gamagori.lg.jp

## ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

### 蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を反映させた三谷地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

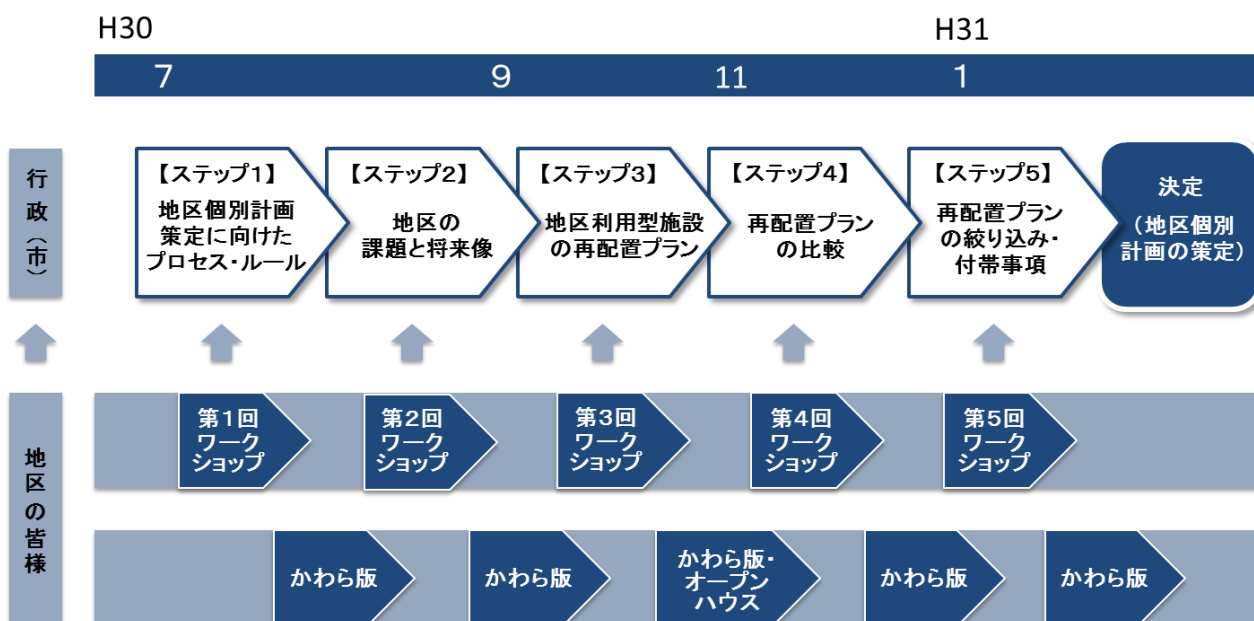
## 進め方とスケジュール

### 1 検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

### 2 スケジュール（予定）



### 3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ワークショップ
- オープンハウス（パネル展示型説明会）
- かわら版



#### 【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

#### 【かわら版】

地区の各世帯に配布するチラシです。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

## 4 ワークショップの概要

- ワークショップは、平成31年1月までに5回開催します。
- 原則として土曜日・日曜日または祝日に開催します。
- 会場は、原則として地区内の学校または公民館とします。
- 事務局は、蒲郡市総務部財務課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆さんにグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

## 5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由に前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。会場内で録音・撮影する場合はあることをご了承ください。

## 6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

## 7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願ひします～

しのだ 篠田	さやか	オフィスキュア
おぐち 小口	ゆうこ 優子	有限会社 まち処計画室
なばた 名畑	めぐみ 恵	NPO 法人 まちの縁側育くみ隊
かつらやま 葛山	としあき 稔晃	株式会社 対話計画
こなか 小仲	たかひろ 貴宏	NPO 法人 まちの縁側育くみ隊
いなば 稲葉	ひさゆき 久之	フリーランス・ファシリテーター

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

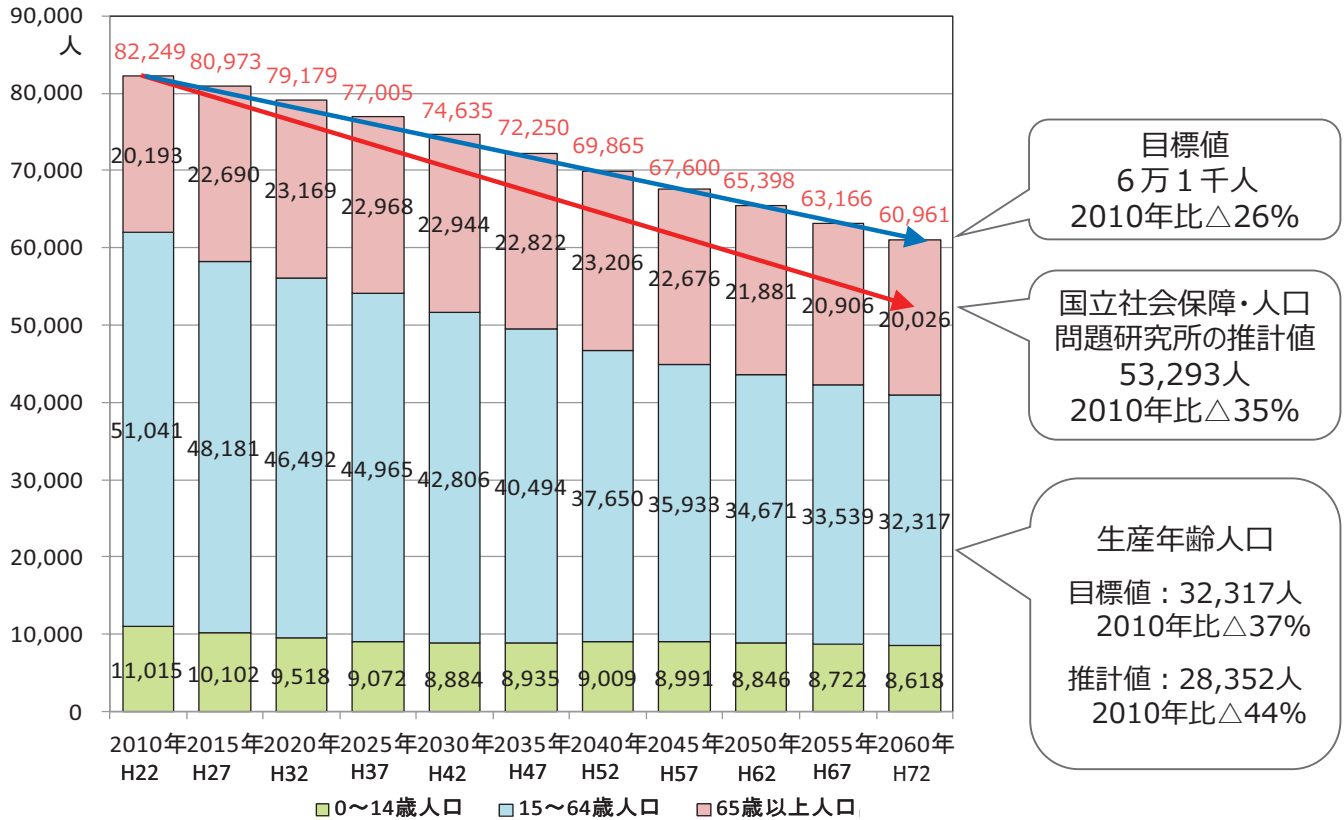


# 蒲郡市の現状と公共施設マネジメントの取り組み

- 1 蒲郡市の現状と課題
- 2 公共施設マネジメントの取り組み

# 蒲郡市の人口（目標値と推計値）

蒲郡市は人口が転出超過基調にあり、人口減少が一層進む見通しとなっています。



出典：蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

（参考）平成72年目標人口 61,000人に向けた取り組み

## 蒲郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標

施策・事業（抜粋）

1. 子育て世代の希望をかなえるまちづくり戦略

- 若者の出会い・交流の場の創出
- 安心して出産可能な環境づくり
- 子育て支援体制の充実
- ワーク・ライフ・バランスの推進

2. 活力あるまち、しごとづくり戦略

- 新規投資・事業化支援
- 企業誘致の促進
- 国内外観光プロモーション事業
- ヘルスケア産業の振興

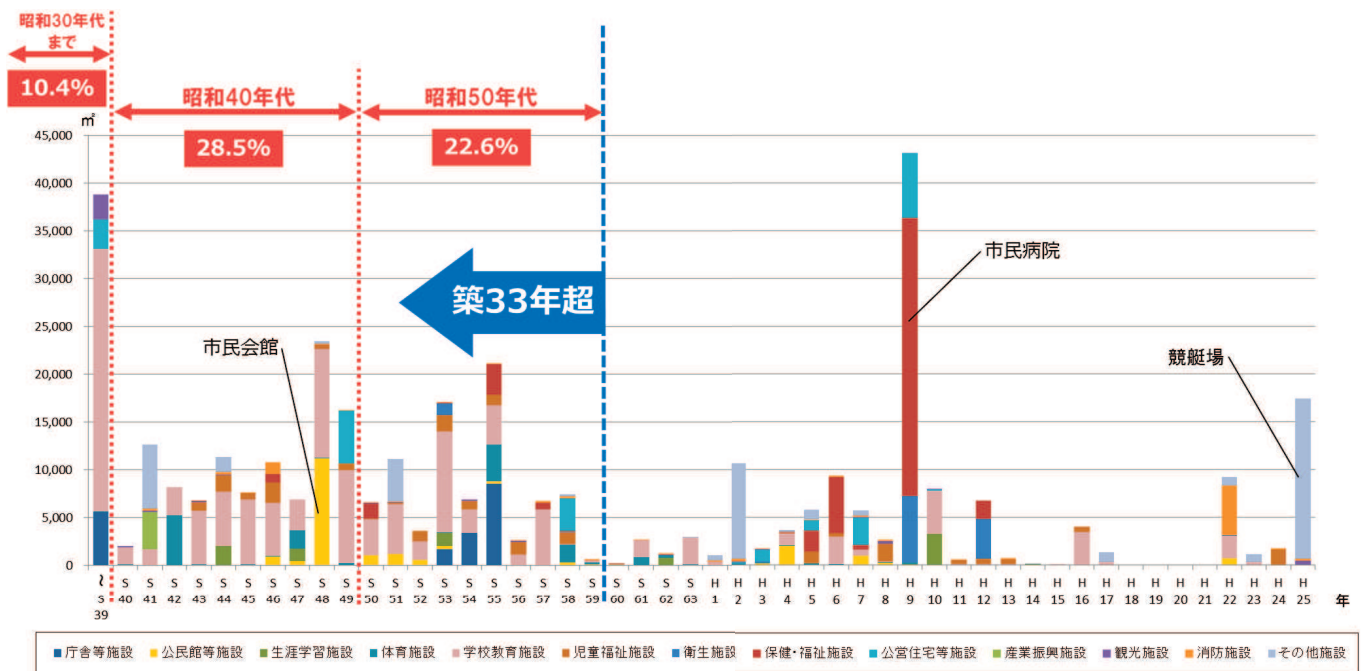
3. 新しい人の流れづくり戦略

- シティプロモーション事業
- 定住促進事業
- 空き家バンク事業
- 市民協働の推進

4. 時代にあった地域づくり戦略

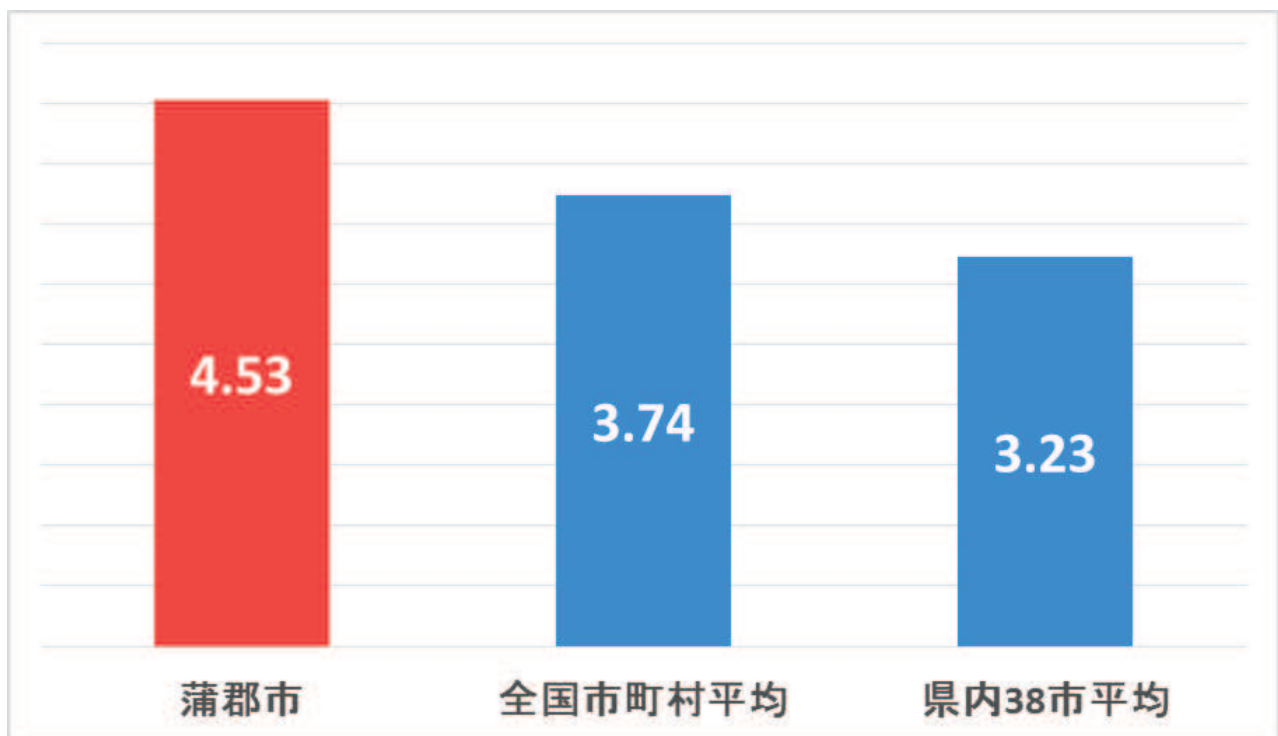
- 防災設備・資機材充実事業
- **公共施設マネジメント事業**
- 公共交通の確保
- 東三河広域連合による事業の実施

## 築年別整備状況（蒲郡市の公共施設）



出典：平成26年度蒲郡市公共施設白書

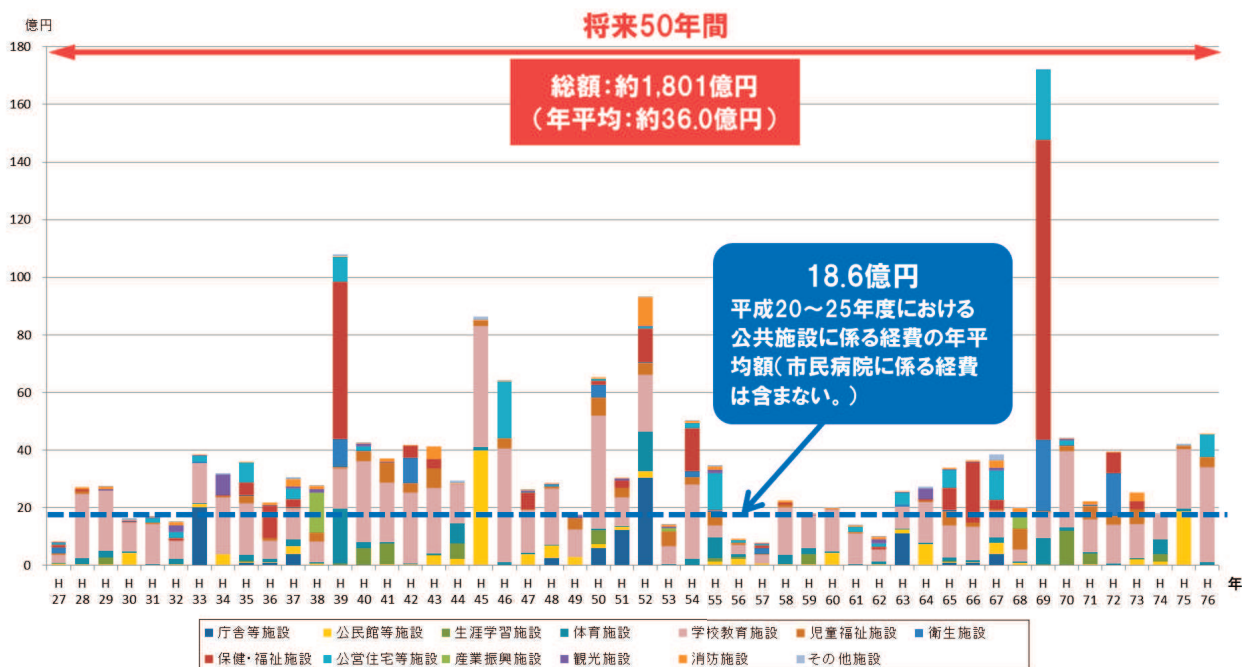
## 人口1人あたり公共施設面積（m<sup>2</sup>）



※ ボートレース場を除くと、蒲郡市の人口1人あたり公共施設面積は、4.00m<sup>2</sup>になります。

出典：平成26年度蒲郡市公共施設白書

# 公共施設の維持更新にかかる将来費用



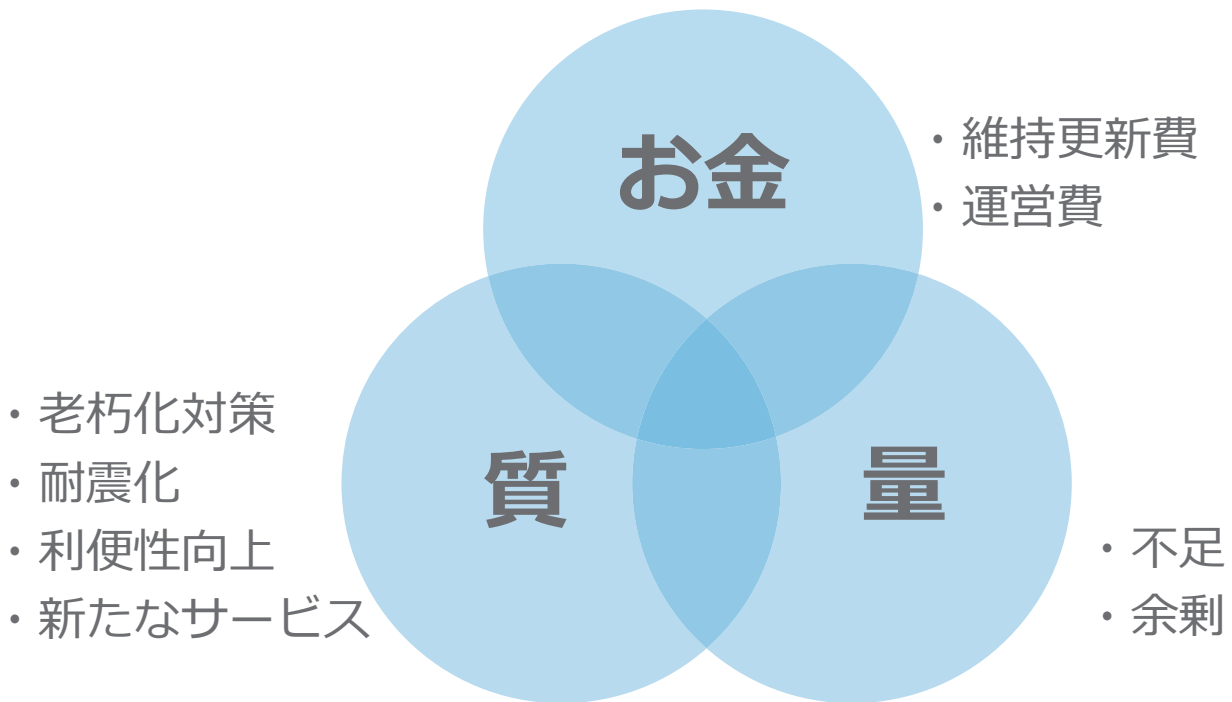
※競艇場は、別会計にて修繕・改修を行っているため、推計対象から除外している。 出典：平成26年度蒲郡市公共施設白書

- 公共施設の維持・更新にかかる費用は、将来50年間では総額約1,801億円（年平均約36.0億円）と推計されています。平成39年以降の費用が特に高く、厳しい状況になります。
- 平成25年度までの6か年度における普通建設事業費等のうち、公共施設に係る経費は約18.6億円であり、大半の年で、公共施設の維持・更新にかかる費用が現状の公共施設に係る経費を上回っています。

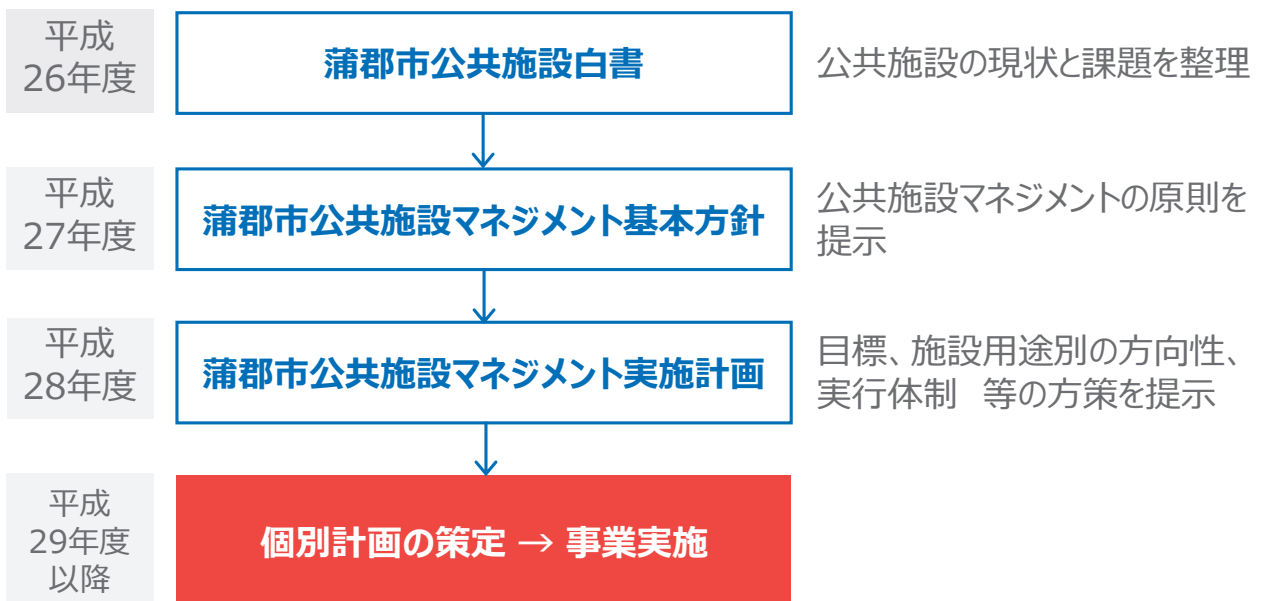
## 1 蒲郡市の現状と課題

## 2 公共施設マネジメントの取り組み

## 公共施設マネジメントとは…

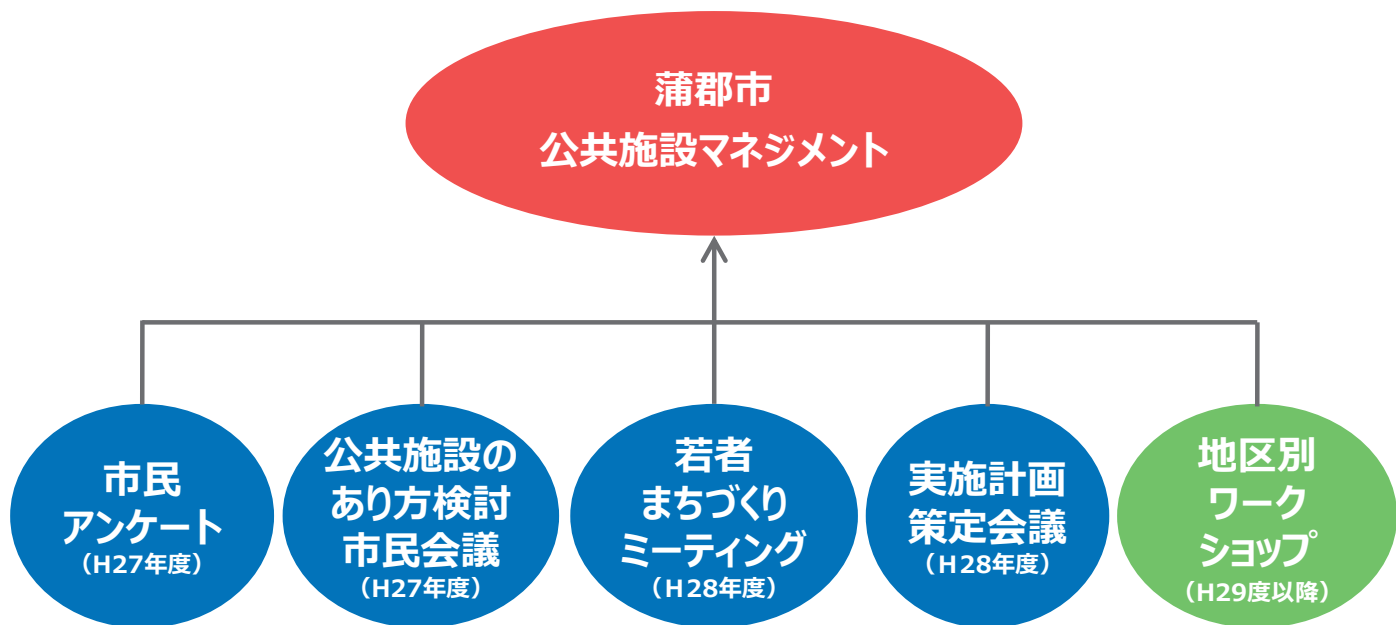


## これまでと今後の取り組み



# 市民意見の反映

蒲郡市では、様々な方法で市民の皆様のご意見をお聴きしながら、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。



## 市民との協働

公共施設のあり方検討市民会議 (H27年度)



若者まちづくりミーティング (H28年度)



公共施設マネジメント実施計画策定会議 (H28年度)

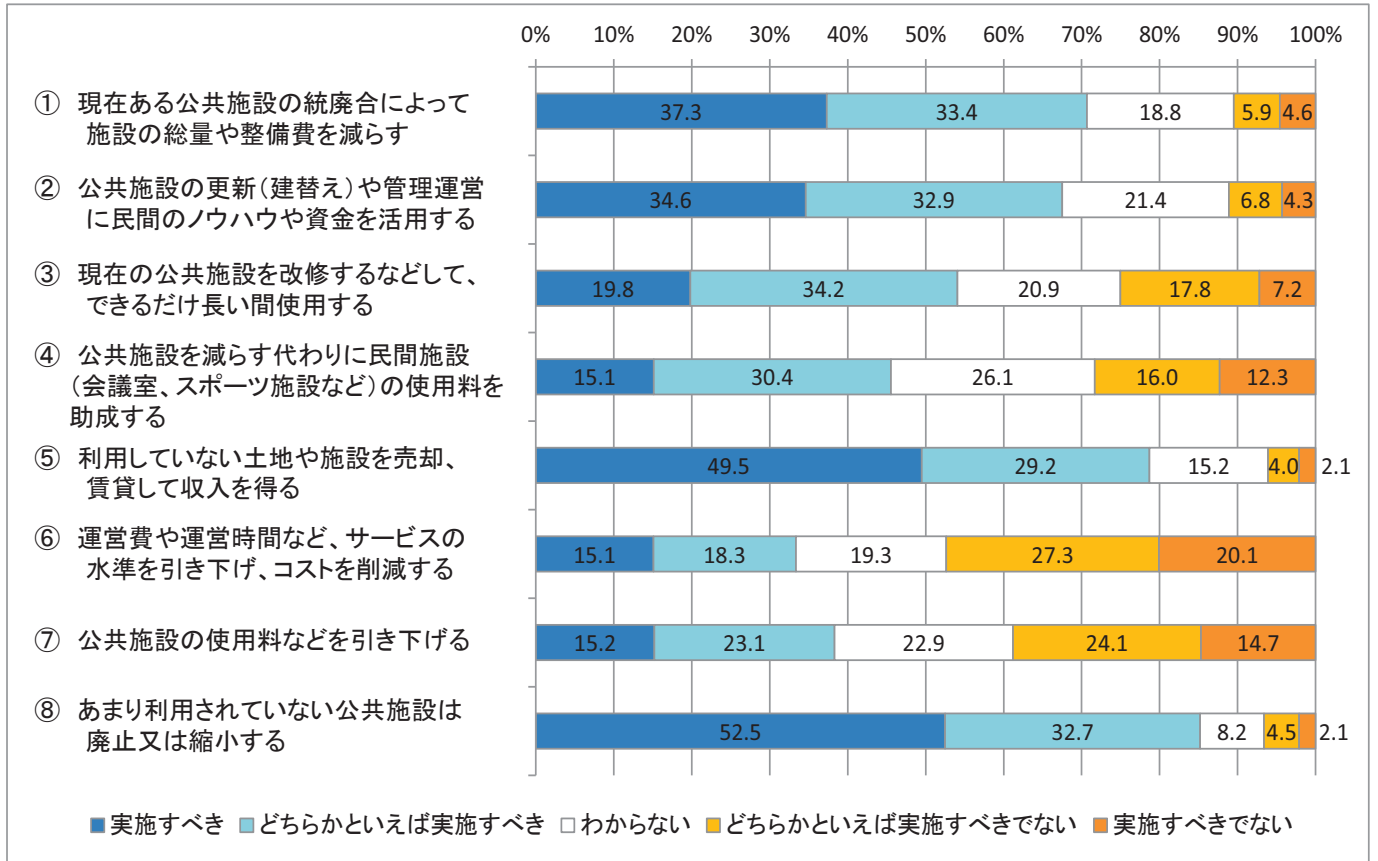


地区別ワークショップ (H29年度～)



# 市民アンケート結果

平成27年度実施、回答数：783



## 市民会議から市長に提出された提言書 (H.27.10)

**観点①**  
財政状況や社会情勢の変化を踏まえた「身の丈にあった」公共施設

- ・複合化・統廃合による施設保有量の適正化・運営の効率化
- ・民間との協働促進によるコスト減
- ・利用料金の適正化
- ・施設の長寿命化、計画的な修繕・改修
- ・施設規模の縮小
- ・新たな建設投資の抑制
- ・近隣自治体との連携
- ・市民による負担者としての判断

**観点②**  
まちの魅力を高めるための公共施設

- ・子どもや高齢者の居場所・交流づくりの推進
- ・まちの核となるエリアの魅力創出
- ・複合化による新たな効果の創出
- ・施設・地域の特性の把握
- ・地域による主体的な運営
- ・交通を踏まえた施設配置の検討(公共交通・自動車の利便性向上)
- ・ハードではなくソフトでのサービス提供
- ・市民の「安全」「安心」を守る
- ・公共施設の周知・認知度向上

**観点③**  
公共施設マネジメントの推進方策

- ・行政のやる気・スリム化・トップマネジメント
- ・実効性のある計画策定・PDCAサイクルによる管理
- ・庁内の横断的な取組み
- ・施設の役割・機能別のマネジメント
- ・市民との協働による推進

出典：蒲郡市の公共施設のあり方に関する提言書  
(平成27年10月・蒲郡市公共施設のあり方検討市民会議)

# 蒲郡市公共施設マネジメント基本方針（H.28.3）

市民の皆様の意見を踏まえ、公共施設マネジメントを推進するための原則を示しました。

## 基本方針 5つのキーワード



# 蒲郡市公共施設マネジメント実施計画（H.29.3）

公共施設マネジメントの取り組みを進めていくための方策を示しました。

## 計画期間

**30年間**（平成29年度から平成58年度まで）

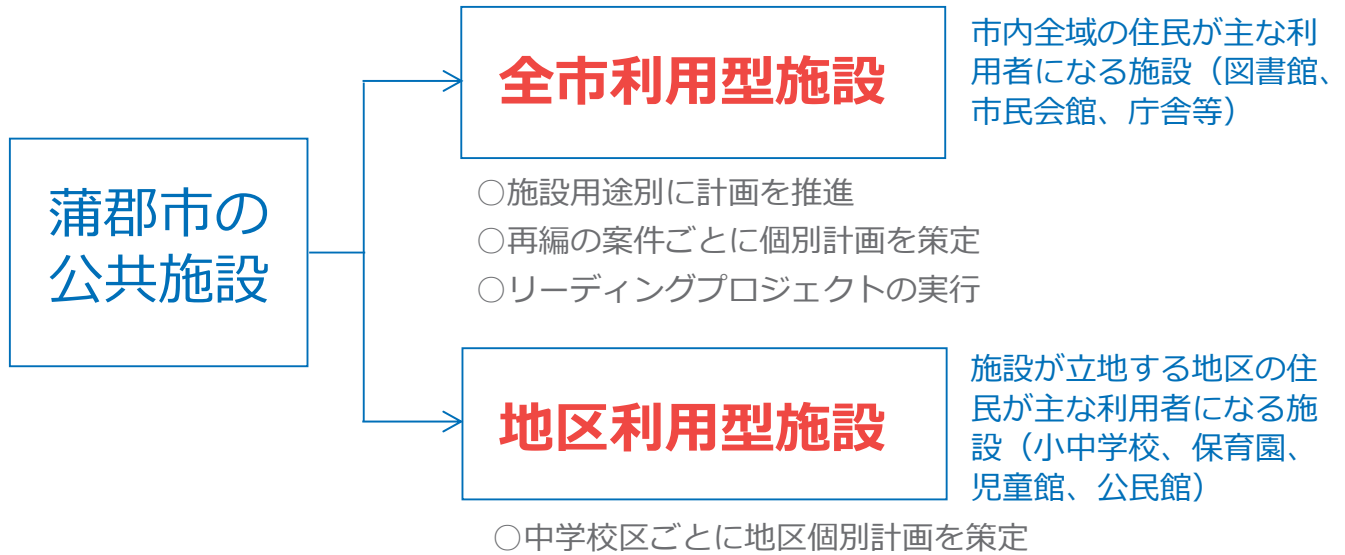
## マネジメント目標

- ① 建物の更新の際に  
概ね**3割**の床面積の縮減する。
- ② 保有床面積の縮減と建物の長寿命化による費用の平準化により、  
**523億円**の維持更新費用を縮減する。



## 施設の分類

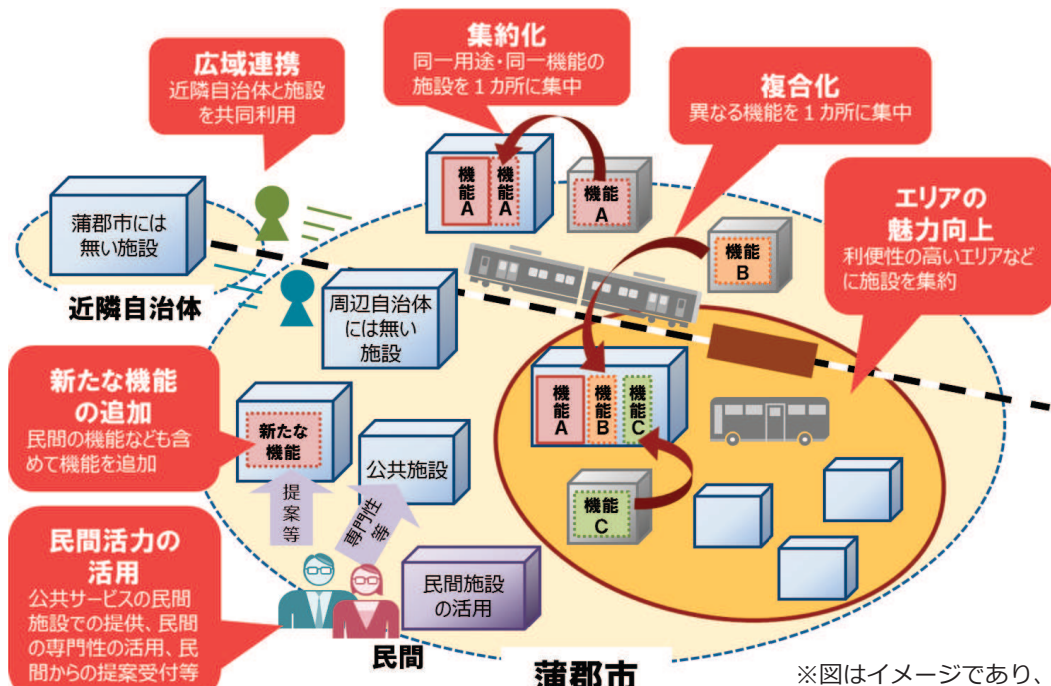
本市の公共施設を**全市利用型施設**と**地区利用型施設**に分類し、適正配置を進める。



## 全市利用型施設についての基本的な考え方

市民会館、図書館等（市内全域の住民の皆様が主な利用者になる施設）

図：全市利用型施設の複合化等のイメージ



※図はイメージであり、具体的な施設の整備方針を示すものではありません。

## 地区利用型施設についての基本的な考え方

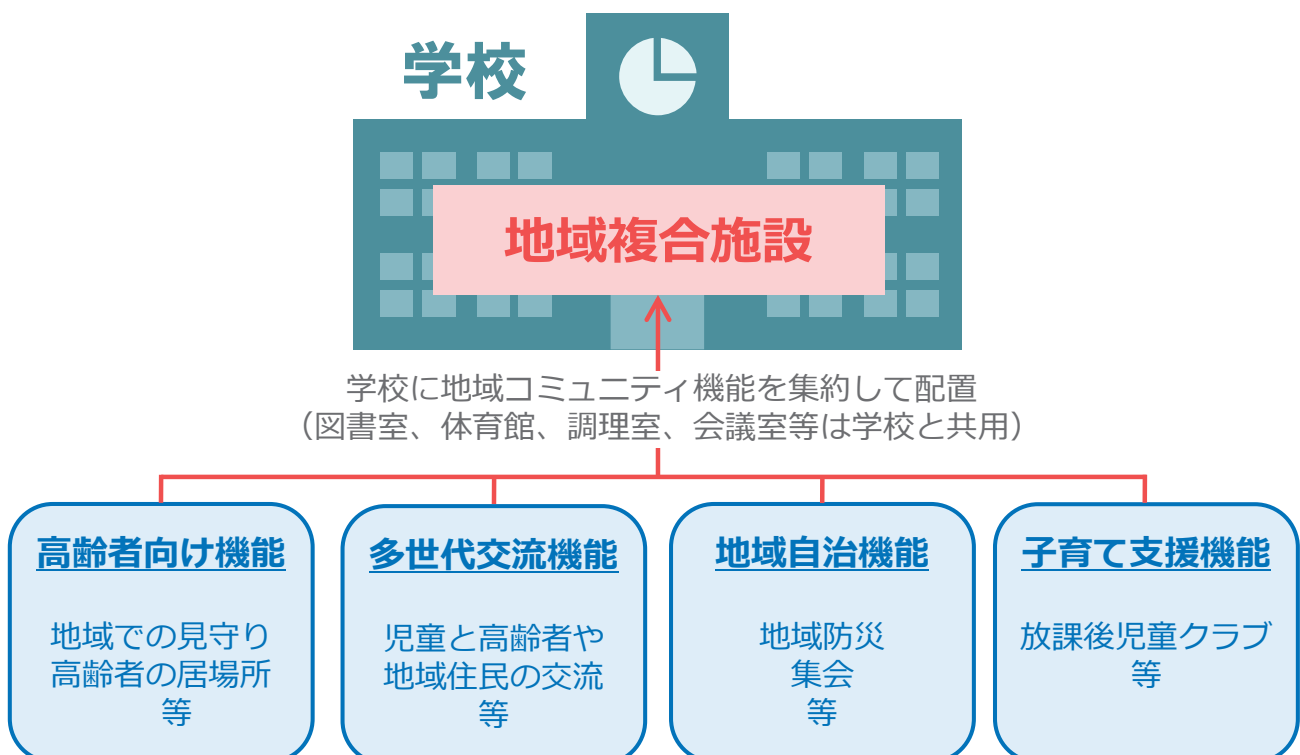
小中学校、保育園、児童館、公民館  
(施設が立地する地区の住民の皆様が主な利用者になる施設)



社会の変化に対応していくために、  
地域で支え合い、助け合うことができる  
環境の充実が求められています。

学校に多様な活動を行うことができる**交流拠点**を形成することで、コミュニティの維持・活性化を図ります。

図：地域複合施設のイメージ



## 事例①

# 埼玉県吉川市 吉川市立美南小学校

### 施設の配置・動線

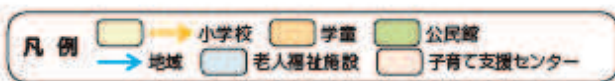
地域の利用者が利用する各施設や学校開放にも使用する特別教室は1階に配置し、普通教室や職員室などの諸室は2階以上に配置することで管理をしやすくしている。

1階の中庭は学校と地域の利用者が自然に交流できるスペースとして設置している。

#### <立面図>



#### <配置図>



【出典】

学校環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

## 事例① 続き

### 多世代が集う地域の交流拠点に

- 小学校に、乳幼児から高齢者まで様々な世代が利用する施設を複合化
- 体育館、音楽室、図工室、家庭科室等を地域に開放



学校の特別教室と公民館の間に設けられた  
学校と地域が共有する中庭



子育て世代・共働き世代が増加する地域の実情に応じた施設を整備  
(左: 子育て支援センター、右: 学童保育室)



デイサービスでは小学校の給食を提供 学校教育の活動時間外に体育館を地域に開放

【出典】

学校環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

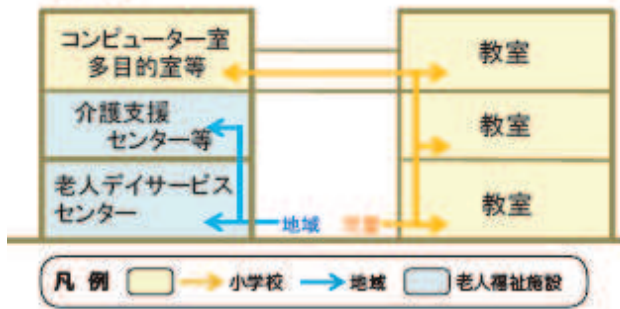
## 事例②

# 京都府宇治市 宇治市立小倉小学校

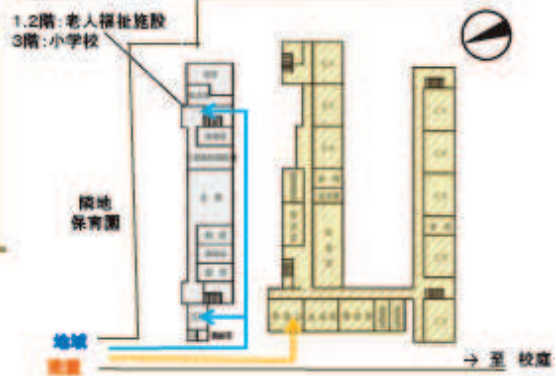
### 施設の配置・動線

- 校舎は3つの棟があり、一番北側の校舎の1・2階部分を老人福祉施設に、3階部分を小学校のコンピューター室、多目的室等として改修。
- 3階には、児童が外部や老人福祉施設を通過せずに移動できる連絡通路を設置。
- 両施設を区分して管理するために、通常時には学校と老人福祉施設をつなぐ階段は使用しておらず、非常時のみの使用としている。

#### <立面図>



#### <配置図>



【出典】

学校環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

## 事例② 続き

### 児童と高齢者の自然な交流が生まれる

- 余裕教室を改修し高齢者向け施設に転用
- 授業の一環での施設間交流のほか、日常的に身近で生活することにより世代間交流が自然に発生



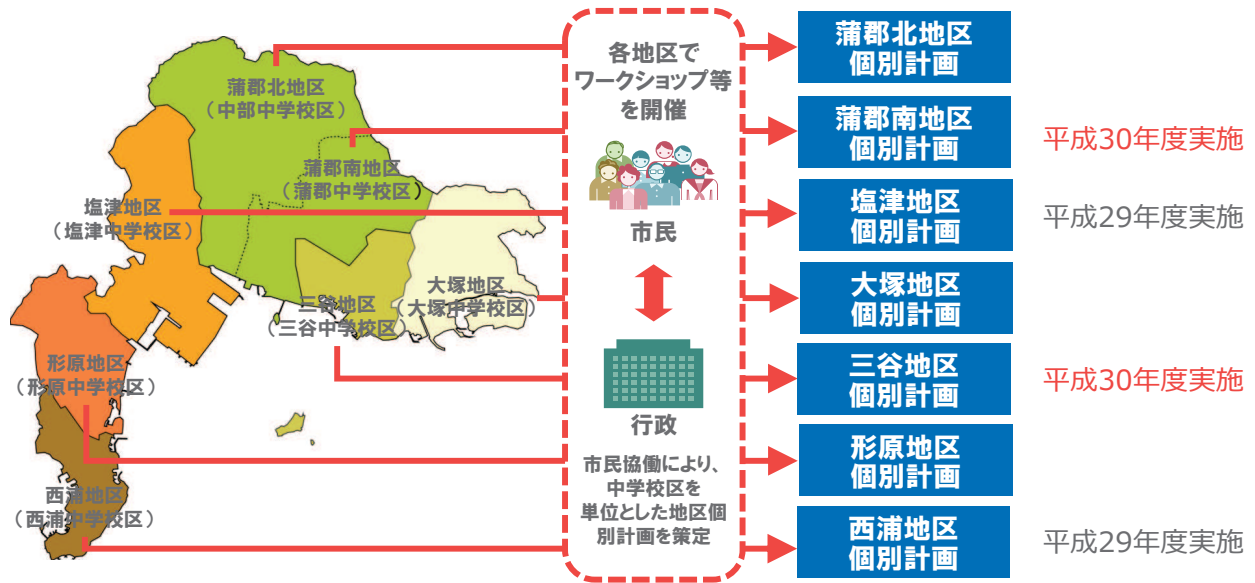
【出典】

学校環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について～学びの場を拠点とした地域の振興と再生を目指して～(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議)

## 市民協働により地区個別計画を策定

将来の地区利用型施設の配置や活用方法を示す**地区個別計画**を**中学校区ごと**に策定します。  
 策定にあたっては、ワークショップ等の実施により、**地区の住民の皆様の考え方・アイデア**を取り入れます。

図：市民との協働による地区個別計画の策定イメージ



## 三谷地区の地区利用型施設

三谷小学校

三谷東小学校

三谷中学校

三谷東保育園

三谷西保育園

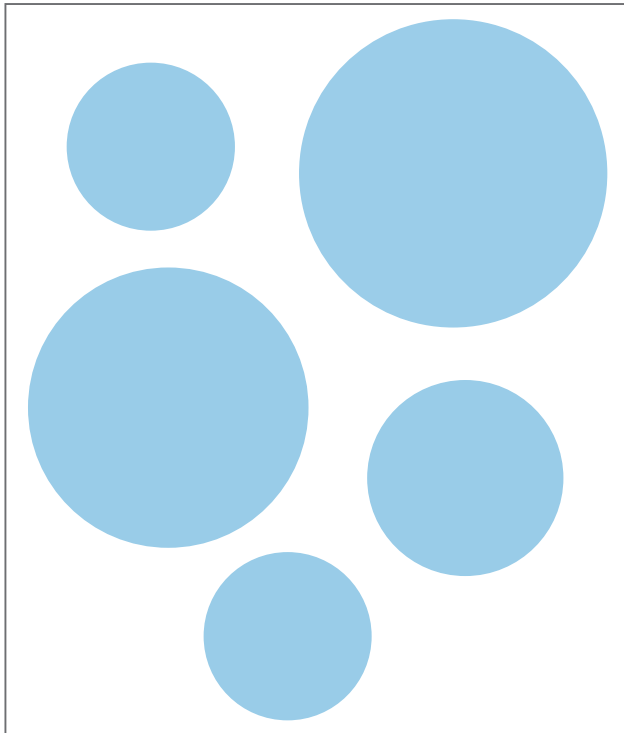
みや児童館

三谷公民館

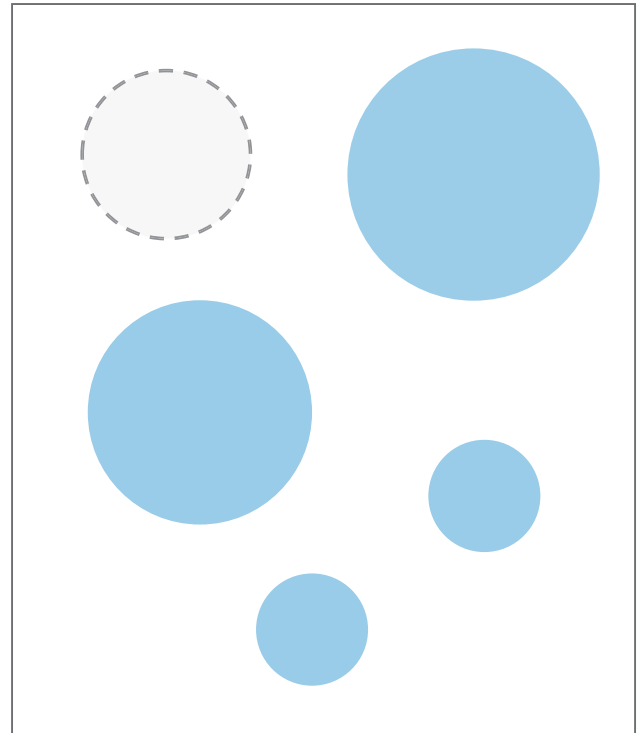


## そのまま縮小すると…

現状



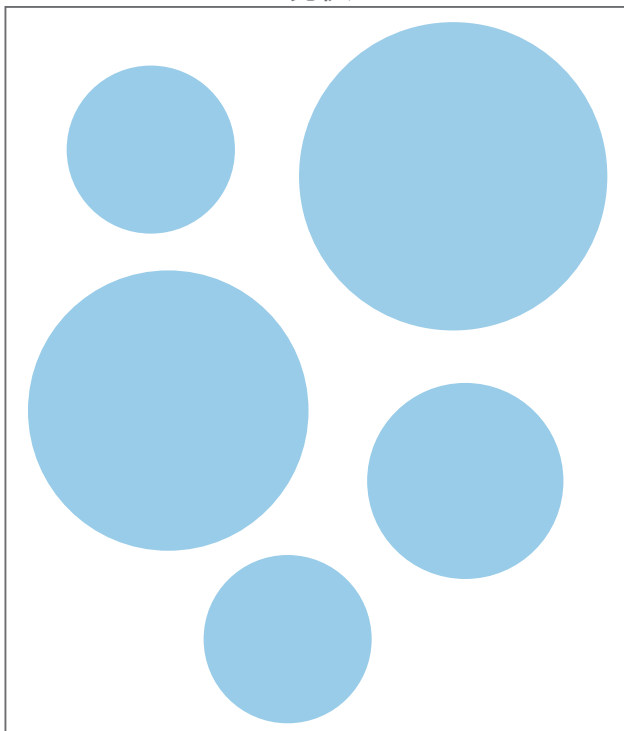
再整備後



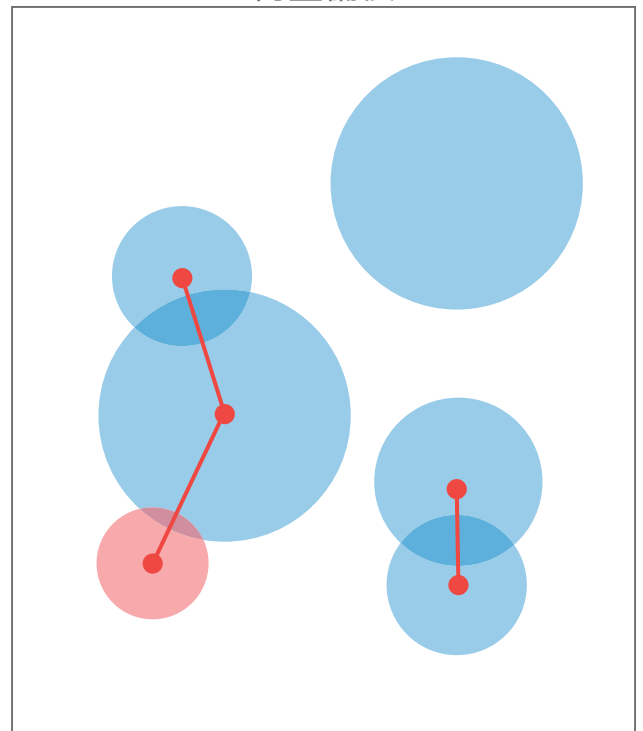
- 必要な機能が維持できない場合も
- ニーズへの対応が難しい

## 工夫して整備すると…

現状



再整備後

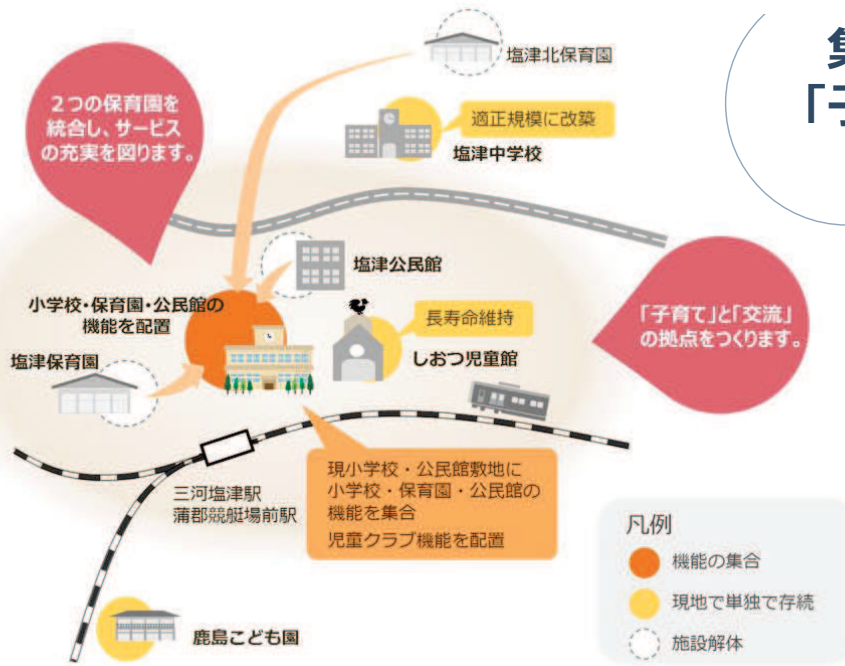


- 使い勝手が良くなる
- 地区の特性や新たなニーズに対応できる
- 効率的な運営が可能

## 塩津地区個別計画（案）

### コンセプト

集まりやすい位置に  
「子育て」と「交流」  
の拠点をつくる



- 低年齢児保育や延長保育が実現できる
- 児童クラブと保育園が同じ敷地になり送迎が楽になる
- アクセスしやすい位置に機能が集まり交流が活性化する
- 相互利用により活動の幅が広がる

## 西浦地区個別計画（案）

### コンセプト

機能を集めてつながりを持たせ、「教育」と「交流」の拠点をつくる



- 児童生徒が互いに見習いあう環境が充実する
- 学校の授業の連携や教職員の交流がしやすくなる
- アクセスしやすい位置に機能が集まり交流が活性化する
- 相互利用により活動の幅が広がる

## 本日の検討内容

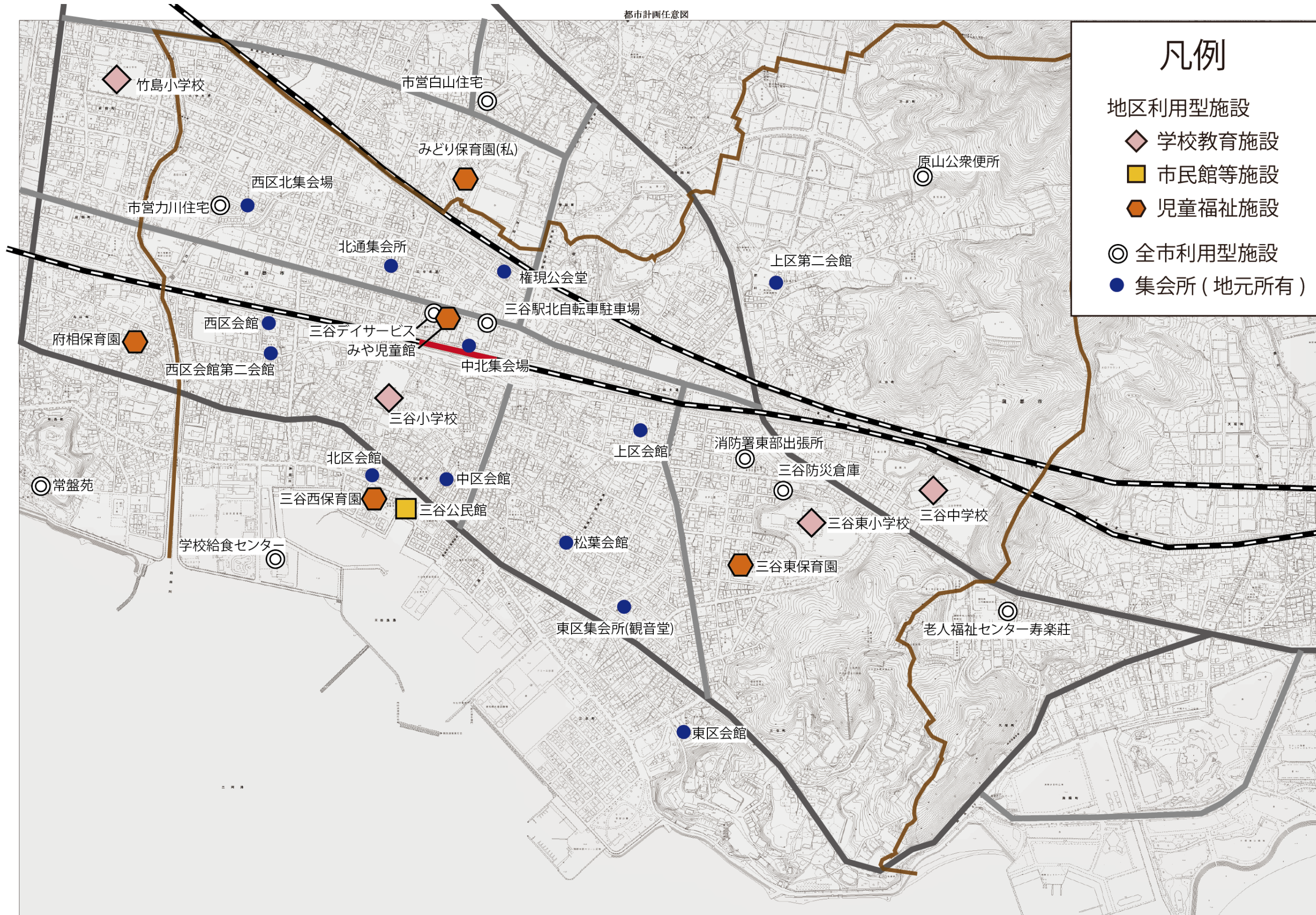
① 地区個別計画の策定に向けた検討の進め方やワークショップの進め方についてご質問やご提案はありますか？

② 三谷地区の現状と今後のまちづくりや公共施設について、どのようなことが気になっていきますか？



三谷地区の公共施設の概要

【公共施設配置図】



内容資料につき外部提供不可。参考図としてご利用ください。

【地区利用型施設一覧】

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	危険区域該当		指定避難所	指定緊急避難場所	防災設備の有無				市の支出				市の収入 (千円)	市の負担額 (千円)	面積あたり市負担額 (円/㎡)	利用者数			平均園児数 (人)	平均児童・生徒数 (人)	貸部屋等利用率 (%)	ハード評価 (偏差値)	ソフト評価 (偏差値)
				津波浸水	土砂災害			防災備蓄用品	非常用発電装置	非常用通信装置	災害用電話配線	施設に係るコスト (千円)	事業運営に係るコスト (千円)	人に係るコスト (千円)	指定管理料 (千円)				3年平均 (人)	1日あたり平均 (人/日)	面積あたり1日あたり平均 (人/㎡・日)					
三谷小学校	6,092	S32	3.0			○	○	○	○	○	○	11,914	7,702	9,733	0	93	29,256	4,802	—	—	—	—	275	—	41.4	52.7
三谷東小学校	6,548	S32	2.9		○	○	○	○	○	○	○	24,761	7,648	2,700	0	93	35,016	5,348	—	—	—	—	317	—	42.7	51.4
三谷中学校	7,939	S48	2.7			○	○	○	○	○	○	34,295	8,014	7,033	0	93	49,250	6,204	—	—	—	—	330	—	45.7	48.6
三谷東保育園	1,252	S49	2.9			○	○	○		○	○	7,014	32,135	85,900	0	27,997	97,052	77,538	—	—	—	145	—	—	45.2	47.5
三谷西保育園	1,002	S46	3.0	○							○	4,359	19,669	63,533	0	16,497	71,065	70,903	—	—	—	83	—	—	43.2	47.6
みや児童館	490	H8	1.5				○	○		○		3,293	3,101	8,100	0	1,038	13,456	27,483	23,637	80.4	0.164	—	—	—	62.9	51.9
三谷公民館	1,854	S46	2.6	○								1,767	2,330	4,009	0	21	8,085	4,361	30,921	102.9	0.056	—	—	16.4	49.8	53.1

出典：平成 26 年度蒲郡市公共施設白書

※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成 26 年 5 月 30 日発表 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査に基づく津波浸水区域を指します。

※「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。

※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。

※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。

※市の支出・収入・負担額及び利用状況の値は 3 カ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

## 各施設の概要

施設名称	概況（特徴・課題等）
三谷小学校	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も古い校舎は昭和 32 年に建設されており、老朽化が進んでいる。</li> <li>・ 児童数 215 人（H30.5.1 現在）</li> <li>・ 普通学級数 9（1 年から 2・1・1・1・2・2）、特別支援学級数 1</li> <li>・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ 耐震補強済み。</li> </ul>
三谷東小学校	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も古い校舎は昭和 32 年に建設されている。</li> <li>・ 児童数 303 人（H30.5.1 現在）</li> <li>・ 普通学級数 12（全学年 2 クラス）、特別支援学級数 3</li> <li>・ もともと三谷中学校として整備された施設であり、校舎・敷地が広い。</li> <li>・ 校内に放課後児童クラブが設置されており、1～4 年生（47 人）が利用している。（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ 耐震補強済み。</li> </ul>

施設名称	概況（特徴・課題等）
三谷中学校	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も古い校舎は昭和 48 年に建設されている。</li> <li>・ 生徒数 294 人（H30.5.1 現在）</li> <li>・ 普通学級数 9（全学年 3 クラス）、特別支援学級数 3</li> <li>・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ 耐震補強済み。</li> </ul>
三谷東保育園	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 49 年に建設。</li> <li>・ 園児数 108 人（定員 140 人）（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 低年齢児保育は生後 6 ヶ月～、延長保育は午後 7 時まで実施。</li> <li>・ 隣接する大塚地区の保育園には 2 歳未満児のクラスがなく、地区外から通園する園児もいる。</li> <li>・ 指定避難所・指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ 耐震補強済み（平成 29 年度に再補強実施済み）。</li> </ul>
三谷西保育園	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 46 年に建設されており、老朽化が進んでいる。</li> <li>・ 園児数 66 人（定員 90 人）（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 低年齢児保育は生後 6 ヶ月～、延長保育は午後 7 時まで実施。</li> <li>・ 愛知県が発表している津波浸水想定域内にある。</li> <li>・ 耐震補強済み（平成 29 年度に再補強実施済み）。</li> </ul>

施設名称	概況（特徴・課題等）
みや児童館	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 8 年に建設。</li> <li>・ 0～18 歳の子どもを対象とした施設。</li> <li>・ 1 階部分に三谷デイサービスが入っており複合施設となっているが、平成 30 年度をもってデイサービスの民間施設への移転が決まっている。</li> <li>・ 三谷小学校の児童クラブが設置されており、1～4 年生（29 人）が利用している。（H30.4.1 現在）</li> <li>・ 指定緊急避難場所に指定されている。</li> <li>・ 新耐震基準による建築物。</li> </ul>
三谷公民館	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和 46 年に建設。</li> <li>・ 愛知県が発表している津波浸水想定域内にある。</li> <li>・ もともと東部市民センターがあったこともあり、他地区の公民館よりも規模が大きい。</li> <li>・ 平成 30 年耐震補強実施予定。</li> </ul>